



## 2021年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所 東  
 コード番号 3660 URL <https://www.istyle.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 徹郎  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CF0 (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(5575)1260  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2021年6月期第1四半期の連結業績(2020年7月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	7,505	△5.0	△160	—	△206	—	△281	—
2020年6月期第1四半期	7,901	2.3	△205	—	△228	—	△232	—

(注) 包括利益 2021年6月期第1四半期 △268百万円(—%) 2020年6月期第1四半期 △278百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	△4.29	—
2020年6月期第1四半期	△3.57	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第1四半期	22,706	5,136	21.7
2020年6月期	24,157	5,413	21.5

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 4,921百万円 2020年6月期 5,192百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年6月期	—	—	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,200	21.7	50	—	△70	—	△200	—	△3.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期1Q	68,046,800株	2020年6月期	68,043,800株
② 期末自己株式数	2021年6月期1Q	2,693,533株	2020年6月期	2,693,533株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年6月期1Q	65,350,528株	2020年6月期1Q	64,935,552株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は2020年11月6日にアナリスト・機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

化粧品業界におきましては、「新型コロナウイルス（COVID-19）」（以下、「新型コロナウイルス」という。）の影響により、消費者の購買意欲の低下や、外出自粛による化粧をする機会の減少、インバウンド需要の蒸発などにより、依然として景況感が厳しい状況にあります。各化粧品メーカーはこの状況を受け、広告媒体のデジタルシフト、EC販売の強化などDX<sup>\*1</sup>を推進していく傾向が強く、これによりプラットフォームとしてメディア・EC・店舗を一体化したサービスを提供する当社グループが享受できる事業成長の機会は、増加するものと見込んでおります。

当社グループは、前期における新型コロナウイルスの影響やGlobal事業の不振による業績悪化から再度成長軌道に乗せるため、当連結会計年度においては不採算事業の整理・撤退ならびに収益部門の強化に注力しております。

売上高におきましては、新型コロナウイルスの影響や、Global事業の不振により連結全体では前期比減収となりましたが、Beauty Service事業におけるECの大幅成長や、前期の第3四半期にオープンしました大型旗艦店「@cosme TOKYO（アットコスメトーキョー）」（以下、「大型旗艦店」という。）の寄与により、減収幅は限定的となりました。

営業利益におきましては、On Platform事業において4～6月の営業活動が停滞していたコロナ禍でも想定を上回る受注を獲得できたこと、Beauty Service事業におけるECの大幅成長、Global事業における不採算事業の整理・撤退、全社的な経費削減により社内計画を上振れての着地となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	7,505百万円（前年同期 7,901百万円 / 前年同期比 5.0%減）
営業損失	160百万円（前年同期 205百万円）
経常損失	206百万円（前年同期 228百万円）
税金等調整前四半期純損失	196百万円（前年同期 163百万円）
親会社株主に帰属する四半期純損失	281百万円（前年同期 232百万円）

※1 デジタルトランスフォーメーションの略。企業がビジネス環境の激しい変化に対応しデータとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

## ①On Platform事業

当セグメントには、当社が運営するコスメ・美容の総合サイト「@cosme（アットコスメ）」を基盤とした各種サービス（BtoB、BtoC）が属しております。

当第1四半期連結会計期間におきましては、新型コロナウイルスの影響で大多数のクライアントにおいて予算の保守化や決裁の長期化が起り、広告・ソリューションサービスが前年比減収となりましたが、当初の見込みを上回る受注を獲得できたことにより、売上・利益ともに社内計画を上振れての着地となりました。「ブランドオフィシャル」の導入数は、新規獲得があったものの新型コロナウイルスの影響による解約もあり、ほぼ横ばいでの推移となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	1,665百万円（前年同期 1,953百万円 / 前年同期比 14.8%減）
セグメント利益	273百万円（前年同期 セグメント利益 426百万円 / 前年同期比 35.7%減）

## ②Beauty Service事業

当セグメントには、化粧品ECサイト「@cosme SHOPPING（アットコスメショッピング）」の運営、化粧品専門店「@cosme STORE（アットコスメストア）」や大型旗艦店の運営等、国内における小売業を中心としたサービスが属しております。

ECにおきましては、新型コロナウイルスの感染防止を目的とした外出自粛による需要増で、前年比で売上高168.5%と引き続き強い成長率を維持しております。

店舗におきましては、新型コロナウイルスの影響により、原宿の大型旗艦店や新宿店など都心店舗における客足の

戻りが当社の想定より鈍く、進捗が計画比で遅れております。一方、一部の地方店舗では新型コロナウイルスが本格的に流行する前の前第3四半期と同水準にまで回復したことや、大型旗艦店の売上寄与により前年比で増収となりました。

利益におきましては、ECの大幅成長によって社内計画を上回り黒字での着地となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	4,389百万円（前年同期 3,850百万円 / 前年同期比 14.0%増）
セグメント利益	6百万円（前年同期 セグメント損失 19百万円）

### ③Global事業

当セグメントには、日本国外で展開するEC・卸売、店舗、メディア等のサービスが属しております。

EC・卸売におきましては、中国市場における競争が依然として厳しく前年比で減収となっておりますが、社内計画を上回って推移いたしました。

香港の店舗におきましては、現地における新型コロナウイルスの影響で客足の戻りも鈍い状態ではありますが、前期の第2四半期にオープンした新店2店舗の寄与により、前年同水準での着地となりました。

利益におきましては、前期から既の実施しております不採算事業の整理・撤退によって収益性が改善され、赤字幅を縮小しての着地となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	1,163百万円（前年同期 1,792百万円 / 前年同期比 35.1%減）
セグメント損失	42百万円（前年同期 セグメント損失 126百万円）

### ④その他事業

当セグメントには、美容部員を派遣する人材派遣事業と、創業間もない企業も含め幅広い成長ステージの企業に投資する投資育成事業が属しております。

人材派遣事業におきましては、新型コロナウイルスの影響を受けるも、前年同水準での着地となりました。

投資育成事業におきましては、前期において営業投資有価証券のキャピタルゲインがありましたが、当該期間においてはありませんでした。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	288百万円（前年同期 306百万円 / 前年同期比 5.8%減）
セグメント損失	3百万円（前年同期 セグメント利益 41百万円）

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産の部

当第1四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,451百万円減少し、22,706百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,263百万円減少し、12,806百万円となりました。これは主に、現金及び預金が933百万円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ188百万円減少し、9,900百万円となりました。これは主に、有形固定資産が173百万円減少したこと等によるものであります。

### ② 負債の部

当第1四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ1,175百万円減少し、17,570百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ659百万円減少し、8,494百万円となりました。これは主に、賞与引当金が204百万円、1年内返済予定の長期借入金が76百万円、支払手形及び買掛金が59百万円、未払法人税等が53百万円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ516百万円減少し、9,076百万円となりました。これは、主に長期借入金が365百万円減少したこと等によるものであります。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ277百万円減少し、5,136百万円となりました。これは主に、利益剰余金が281百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月13日の決算短信で公表しました当連結会計年度の業績予想は、新型コロナウイルスの影響が第2四半期中に収束することで同期間から業績が改善することを前提としております。しかしながら、その前提と今後における実際の社会・経済情勢が相違し、業績予想と実績に乖離が見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,647	5,714
受取手形及び売掛金	2,615	2,572
商品	3,078	2,912
営業投資有価証券	914	911
その他	884	767
貸倒引当金	△5	△5
投資損失引当金	△65	△65
流動資産合計	14,069	12,806
固定資産		
有形固定資産	2,631	2,458
無形固定資産		
のれん	468	447
ソフトウェア	2,598	2,505
その他	162	306
無形固定資産合計	3,228	3,259
投資その他の資産		
投資有価証券	1,834	1,832
敷金及び保証金	1,986	1,962
その他	409	390
投資その他の資産合計	4,229	4,184
固定資産合計	10,088	9,900
資産合計	24,157	22,706

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,437	1,378
短期借入金	3,000	3,000
1年内返済予定の長期借入金	1,652	1,576
未払法人税等	145	92
賞与引当金	230	25
店舗閉鎖損失引当金	35	33
事業構造改善引当金	24	15
その他	2,631	2,376
流動負債合計	9,153	8,494
固定負債		
長期借入金	9,122	8,757
その他	470	320
固定負債合計	9,592	9,076
負債合計	18,745	17,570
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,703	3,703
資本剰余金	2,882	2,883
利益剰余金	△822	△1,103
自己株式	△280	△280
株主資本合計	5,484	5,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△76	△66
為替換算調整勘定	△216	△218
その他の包括利益累計額合計	△292	△284
新株予約権	97	87
非支配株主持分	125	129
純資産合計	5,413	5,136
負債純資産合計	24,157	22,706

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2020年9月30日)
売上高	7,901	7,505
売上原価	4,194	4,010
売上総利益	3,707	3,495
販売費及び一般管理費	3,911	3,656
営業損失(△)	△205	△160
営業外収益		
受取利息	1	0
為替差益	8	—
助成金収入	—	32
その他	6	10
営業外収益合計	14	42
営業外費用		
支払利息	7	19
為替差損	—	53
投資事業組合運用損	3	2
持分法による投資損失	26	14
その他	2	0
営業外費用合計	38	88
経常損失(△)	△228	△206
特別利益		
新株予約権戻入益	77	10
特別利益合計	77	10
特別損失		
店舗閉鎖損失	3	—
移転費用	8	—
特別損失合計	11	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△163	△196
法人税等	73	80
四半期純損失(△)	△236	△276
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	4
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△232	△281

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△236	△276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	10
為替換算調整勘定	△51	△2
その他の包括利益合計	△42	8
四半期包括利益	△278	△268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△275	△272
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の決算短信の(追加情報)に記載した新型コロナウイルスの今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	On Platform 事業 (百万円)	Beauty Service事業 (百万円)	Global事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	1,953	3,850	1,792	306	7,901	—	7,901
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	9	1	2	17	△17	—
計	1,958	3,859	1,793	308	7,918	△17	7,901
セグメント利益又は損失 (△)	426	△19	△126	41	322	△527	△205

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△527百万円は、セグメント間取引消去△19百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△508百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	On Platform 事業 (百万円)	Beauty Service事業 (百万円)	Global事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	1,665	4,389	1,163	288	7,505	—	7,505
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41	3	6	1	51	△51	—
計	1,707	4,392	1,169	289	7,557	△51	7,505
セグメント利益又は損失 (△)	273	6	△42	△3	235	△395	△160

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△395百万円は、セグメント間取引消去2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△397百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。